

## 平成29年7月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越金)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,632,648</b>	<b>197,064</b>	<b>786,944</b>	<b>29.9%</b>	<b>1,845,704</b>		
1. 営業収益	2,271,430	193,054	770,922	33.9%	1,500,509		
1. 給水収益	2,243,160	192,579	768,683	34.3%	1,474,477		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	28,270	476	2,238	7.9%	26,032		
2. 営業外収益	360,854	4,010	16,023	4.4%	344,831		
3. 特別利益	364				364		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,543,341</b>	<b>77,735</b>	<b>277,509</b>	<b>10.9%</b>	<b>2,265,832</b>	<b>673,243</b>	<b>26.5%</b>
1. 営業費用	2,291,121	77,719	277,377	12.1%	2,013,744	673,111	29.4%
1. 原水及び浄水費	483,842	30,535	100,954	20.9%	382,888	269,652	55.7%
2. 配水費	291,465	22,880	79,607	27.3%	211,858	143,695	49.3%
3. 給水費	113,124	4,882	19,236	17.0%	93,888	34,496	30.5%
4. 受託工事費							
5. 業務費	162,165	12,728	39,880	24.6%	122,285	148,287	91.4%
6. 総係費	163,592	6,694	37,700	23.0%	125,892	76,980	47.1%
8. 減価償却費	1,026,833				1,026,833		
9. 資産減耗費	50,100				50,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	230,415				230,415		
3. 特別損失	1,805	17	132	7.3%	1,673	132	7.3%
4. 予備費	20,000						
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>1,820,621</b>	<b>842</b>	<b>5,467</b>	<b>0.3%</b>	<b>1,815,154</b>		
1. 企業債	1,069,400				1,069,400		
2. 負担金・補償金	297,951		1,449	0.5%	296,502		
3. 補助金	133,293				133,293		
4. 出資金	309,555				309,555		
5. 加入金	10,422	842	4,018	38.5%	6,404		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>3,050,300</b>	<b>17,782</b>	<b>29,944</b>	<b>1.0%</b>	<b>3,020,356</b>	<b>912,277</b>	<b>29.9%</b>
1. 建設改良費	2,368,052	17,782	29,944	1.3%	2,338,108	912,277	38.5%
1. 取水施設整備費	827,307				827,307	501,660	60.6%
2. 導水施設整備費	17,820				17,820		
3. 浄水施設整備費	190,018				190,018	14,494	7.6%
4. 送水施設整備費	122,713				122,713	78,840	64.2%
5. 配給水施設整備費	1,205,334	17,782	29,944	2.5%	1,175,390	317,284	26.3%
6. 消防設備整備費	4,860				4,860		
2. 企業償還金	682,248				682,248		
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>47,324</b>	<b>2,147</b>	<b>5,453</b>	<b>11.5%</b>	<b>41,871</b>	<b>5,453</b>	<b>11.5%</b>
①有収水量	7,914,100	677,239	2,690,778	34.0%	5,223,322		
②供給単価	283.44	284.36	285.67	100.8%	△ 2.23		
③給水原価	321.14	114.76	103.08	32.1%	218.06		
<b>人件費</b>	<b>236,921</b>	<b>13,530</b>	<b>70,821</b>	<b>29.9%</b>	<b>166,100</b>		
1. 収益的収支	196,637	11,003	56,419	28.7%	140,218		
1. 職員給与費	195,857	10,945	56,151	28.7%	139,706		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	780	59	268	34.3%	512		
2. 資本的収支	40,284	2,526	14,402	35.8%	25,882		
* 職員給与費	236,141	13,471	70,553	29.9%	165,588		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.7%	5.7%	7.3%				
2. 全職員	10.5%	7.0%	9.2%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>44,943,525</b>	<b>44,972,312</b>	<b>28,787</b>	
*減価償却累計額	18,794,440	18,794,440		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,292,328</b>	<b>3,601,039</b>	<b>308,710</b>	
1. 現金預金	2,594,861	2,952,009	357,148	
2. 未収金	576,010	214,046	△ 361,964	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,572	31,254	△ 2,318	
5. 前払費用・前払金	87,886	386,523	298,637	工事前払金等
6. その他		17,207	17,207	仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>261,863</b>	<b>261,863</b>	
1. 営業費用		261,741	261,741	
2. 営業外費用				
3. 特別損失		122	122	
<b>1. 借方合計=A+B+D</b>	<b>51,805,091</b>	<b>52,404,451</b>	<b>599,360</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,808,703</b>	<b>11,808,703</b>		
1. 企業債	11,541,269	11,541,269		
2. 引当金	267,434	267,434		
<b>F. 流動負債</b>	<b>1,060,868</b>	<b>926,202</b>	<b>△ 134,666</b>	
1. 企業債	678,746	678,746		H29年度償還元金
2. 未払金	219,482	38,266	△ 181,216	
3. 前受金	148,062	148,040	△ 22	
4. 引当金	14,186		△ 14,186	*賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	392	61,150	60,758	
うち仮受消費税		58,385	58,385	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>9,746,416</b>	<b>9,751,585</b>	<b>5,169</b>	
1. 長期前受金	9,746,416	9,751,585	5,169	償却資産に係る財源のうち、補助金・補償金・負担金・受贈財産等
* " 収益化累計額	3,569,237	3,569,237		
<b>H. 資本金</b>	<b>10,178,427</b>	<b>10,178,427</b>		
1. 自己資本金	10,178,427	10,178,427		*固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>215,737</b>	<b>215,737</b>		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		*非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	192,837	192,837		
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>728,857</b>	<b>728,857</b>	
1. 営業収益		713,982	713,982	
2. 営業外収益		14,875	14,875	
3. 特別利益				
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>51,805,091</b>	<b>52,404,451</b>	<b>599,360</b>	
a. 供給単価 (円、銭)	264.92	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	93.70	=原価算入額÷有収水量		当月予算
②シミュレーション	249.80	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	76.32%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	84.78%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	388.74%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	318.72%	=現金預金÷流動負債		

\*供給単価、給水原価は損益ベースであること

# 平成29年 7 月期 業務実績報告書(水道管理課)

## 一 般 事 項

### 1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 計 画 累 計	D 前年度同月累計	E 対 計 画 比 較	F 対 前 年 比 較
1 調定件数	件	30,592	122,687	123,500	122,958	△813	△271
2 調定量	m <sup>3</sup>	672,987	2,673,774	2,630,000	2,655,982	43,774	17,792
3 調定料金(税抜)	円	178,313,727	711,743,611	696,000,000	709,479,830	15,743,611	2,263,781
4 口振加入件数	件	25,234	101,204	-	101,942	-	△738

### 2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対 前 年 比 較 (B-C)
5 給水人口	人	81,728	-	81,723	5
6 給水件数	件	30,417	-	30,566	△ 149
7 開栓処理件数	件	221	1,322	1,344	△ 22
8 閉栓処理件数	件	224	1,149	1,109	40
9 給水工事設計審査	件	69	217	256	△ 39
10 給水工事竣工検査	件	51	278	366	△ 88
11 経年メーター交換	件	416	1,245	1,939	△ 694
12 メーター口径変更	件	4	12	19	△ 7
13 月末停止件数	件	3	7	4	3

### 3 料金徴収関係

項 目	A 当 月 末 未 収 額	B 収 納 率	C 前 年 同 期 未 収 額	D 収 納 率
14 当年度分	203,552,317 円	73.52 %	195,928,523 円	74.44 %
15 過年度分	5,600,115 円	97.01 %	5,749,255 円	97.03 %
16 全 体 (計)	209,152,432 円	-	201,677,778 円	-

### 4 給水装置工事指定業者(増減無し)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	8	16	12	13	9	8	14	7	105	122	227

### 5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	10/10	43/43	4/4	15/15	4/4	11/11	2/2	5/5	0/0	12/12	0/0	0/0
契約締結	一般	1	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0
	指名	6	32	2	9	4	11	0	1	0	11	0
	随契	3	8	1	3	0	0	2	4	0	1	0
合計	10	43	4	15	4	11	2	5	0	12	0	0

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 0件:累計 0/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 0件

### 6 竣工等検査

検査種類	累 計	当 月 件 数	内 容
竣工検査	3	3	工事
中間検査	2	1	工事
合 計	5	4	

### 7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	11日	7月 事業打合せ等
事業調整会議	12日	第4回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
安全衛生委員会	12日	第4回 行事計画、日程調整等
水道事業連絡会議	12日	第4回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
水道ブースター会議	14日	7月期 企業債について
給水拠点設置訓練	19日	7月期 中田総合支所
経営分析会議	21日	6月期 各種経営分析等
例月出納検査	25日	6月分 例月出納現金検査
指名委員会	4・21日	第9回・第10回
入札会	4・19日	4件・6件
緊急メールの発出	-日	漏水9、訓練1、水質4、取水1、破損3

## 特 記 事 項

### 1. 7月期の経営状況

#### (1) 予算執行状況等について

##### ア 収益的収支

当期の給水収益は192,579千円(税込)で、前月期に比べて656千円の増で、予算執行率(累計)は34.3%(前年度33.7%)、対前年同月比では7,567千円の増となっています。営業収益は手数料収益476千円を含む193,054千円、営業外収益は事務手数料3,758千円を含む4,010千円となりました。

当期の営業費用は77,719千円を執行し、累計額は277,377千円、予算執行率(累計)は12.1%(前年度11.5%)となりました。特別損失では放射性物質検査料17千円を執行しました。

##### イ 資本的収支

当期の収入は、加入金842千円を執行し、執行率(累計)は0.3%(前年度9.1%)でした。

支出は、配給水施設整備費に17,782千円を執行し、累計では29,944千円となりなりました。執行率(累計)は1.5%(前年度0.5%)でした。

##### ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に2,147千円を執行しました。

### 2. 今月の出来事

#### (1) 北上川源流見学会を開催

第59回水道週間行事として7月28日(金)に北上川源流見学会を開催しました。今回は定員を上回る77名の応募があり抽選で参加者を決定させていただきました。当日は39名が参加し、北上川の源流「弓弭(ゆはず)の泉」と「旧松尾鉱山新中和施設」や「松尾鉱山資料館」等の見学を行いました。北上川についてのお話や中和処理施設の必要性についての講話を聴き、登米市の水道と北上川のかかわりを学んでいただきました。



中和処理施設の見学



弓弭の泉にて



松尾鉱山資料館の見学

#### (2) 総務企画常任委員会現地視察

7月4日(木)に総務企画常任委員会の現地視察が行われました。工事の進捗状況や事業内容の説明後、取水塔から順に水処理の流れに沿って移動しながら設備の説明を行いました。

委員の皆さんは職員の説明に熱心に耳を傾けられていました。



下り松ポンプ場視察の様子

#### (3) 登米市議会定例会6月定期議会

平成29年登米市議会定例会6月定期議会が6月8日(木)から7月5日(水)までの日程で開催され、水道事業所では7月3日(月)の議会において繰越計算書に係る報告2件を行いました。内容は、水道3号線等に係る予算197,359千円の繰越と、下り松ポンプ場場内整備並びに新田配水池送水管舗装復旧に係る継続費119,754千円の繰越について報告したものです。

#### (4) 登米市水道事業優良工事施工業者等表彰式

7月26日(水)に登米市水道事業優良工事施工業者等表彰式を市長部局との合同で開催しました。昨年度、水道事業所が発注した工事で優良な成績を収めた3社と、その現場の技術者を表彰しました。また、受賞者を代表して(株)菅慶の代表取締役から、あいさつをいただきました。



受賞者の皆さん

#### (5) 第2回資金管理運用委員会を開催

7月12日(水)に第2回資金管理運用委員会を開催しました。7月19日に満期を迎える2億円(みやぎ登米農協)と8月29日に満期を迎える3億円(七十七銀行)の定期預金の運用について協議を行い、それぞれ継続し、1年間の定期預金として預け入れを行うこととしました。

# 平成29年 7月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	866,248	3,374,848	3,267,080	3,344,138	107,768	30,710
総配水量	815,123	3,173,963	3,092,190	3,204,076	81,773	-30,113
1 有効水量	724,899	2,882,834	2,846,700	2,864,521	36,134	18,313
(1)有収水量	677,239	2,690,778	2,646,800	2,672,977	43,978	17,801
(2)無収水量	47,660	192,056	199,900	191,544	-7,844	512
2 無効水量	90,224	291,129	245,490	339,555	45,639	-48,426
(1)漏水量	89,974	290,289	243,000	338,578	47,289	-48,289
(2)その他無効水量	42	170	90	161	80	9
3 有収率	83.08%	84.78%	85.6%	83.42%	-0.82	1.36

※当月期の最大配水量は、14日(金)に記録した【28,004m<sup>3</sup>】です。

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	732,256	3	406,609	0	0	325,647	55.5%
イ 導水施設整備事業	1	17,820	0	0	0	0	17,820	0.0%
ウ 浄水施設整備事業	14	190,018	4	14,494	0	0	175,524	7.6%
エ 送水管整備事業	1	98,010	1	56,430	0	0	41,580	57.6%
オ 配給水施設整備事業	54	1,007,975	17	110,987	6	29,944	867,044	14.0%

\*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

#### ◎毎日検査 ※おいしい水の目安 遊離残留塩素 0.4 mg/L 以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 9)	(測定戸数: 1)	(測定戸数: 2)
平均	0.84	0.32	0.40	0.60	0.48
最低	0.78	0.10	0.10	0.54	0.25
最高	0.91	0.60	0.70	0.60	0.59

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム 134	セシウム 137			セシウム 134	セシウム 137
保呂羽浄水場	H29.7.19	<0.7	<0.8	米谷水系浄水場	—	—	—
石越浄水場	H29.7.18	<0.8	<0.8	楼台水系浄水場	—	—	—
大萱沢浄水場	H29.7.19	<0.8	<0.6	合の木浄水場	—	—	—
米川水系浄水場	—	—	—	大綱木浄水場	—	—	—
錦織水系浄水場	H29.7.19	<0.7	<0.8	—	—	—	—

## 特 記 事 項

### 1 安全体感教育に参加

7月5日(水)に保呂羽浄水場において行われた安全体感教育に参加しました。  
これは、浄水施設等管理運転業務を受託している明電舎が実施したもので、経験不足の若い作業員やベテラン作業員の慣れに起因する労働災害が増加している中、従来の座学による安全教育に更なる効果を求めて、安全体感装置を利用し、作業員が「見て」「触って」「体感」することによって気づきを促し、心に記憶させる安全教育です。  
今回、安全体感装置での感電体感や回転体巻き込まれ体感等、身近に起こりうる災害と、疑似体感が難しい墜落、転落、火傷等の災害について、バーチャルリアリティ(仮想現実)体感装置を利用して体感しました。  
模擬的ではありましたが、各種体感したことを忘れず日々の仕事に生かし改めて安全な職場を作っていくことを認識しました。



### 2 第1回 田瀬ダム水質連絡協議会に出席

7月11日(火)に第1回 田瀬ダム水質連絡協議会が開催され2名が出席しました。  
この協議会は、田瀬ダムの貯水池において平成11年頃から夏季にかけてアオコが発生し、また平成26年にはカビ臭が発生するなど、湖面利用や景観、上下流の安全な水利用等の障害になることが懸念されるため、水質保全対策手法及び監視体制を検討する田瀬ダム水質検討会の提言を踏まえ、関係機関による情報共有及び流域水環境保全対策の推進を図り、流域一体での継続的な水環境の保全・改善に資することを目的として開催されたものです。会議では、規約及び連絡体制の確認、今年度の観測計画等を協議検討しました。

### 3 北方配水池において緊急時対応訓練を実施

7月27日(木)に北方配水池において緊急時対応訓練を実施しました。  
これは、浄水施設等管理運転業務委託仕様書に基づく訓練の一貫として、受託している明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体が発したもので、緊急遮断弁の復帰操作についてその手順を再確認しました。  
緊急遮断弁は配水池からの幹線配水管の破損等による水の流出を防ぎ、非常用の水を確保するとともに、流出した水による二次災害を防止し地震災害に備えることを目的としています。  
今後も訓練を重ね、災害に備えます。



### 4 平成29年7月の漏水調査結果について

7月末の漏水調査の結果37件42.346m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しています。計画有収率85.7%を目標に調査を実施します。

### 5 地震発生状況

平成27年5月13日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生しておりません。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m <sup>3</sup> /h)
	配水管	18	27.48
	付属施設	0	0
	給水管	19	14.866
	計	37	42.346